

平成22年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

1項 農業費

中部総合事務所農林局(0858-23-3193)

2目 農業改良普及費 <地方機関計上予算>

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) らくらくスイカ作業改善推進事業	910	0	910				910	
トータルコスト	1,717千円 (前年度 0千円) [正職員:0.1人]							
主な業務内容	委託企業・産業技術センター・農家との調整、調査、改善事項の検討など							
工程表の政策目標(指標)	-							
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b> 鳥取県農業の基幹作目であるスイカの栽培において、交配日を識別するために行う色付け作業は、クレヨンを用いて行うのが一般的であるが、「つけにくい、見にくい」などの問題点があり、スイカ農家の改善要望が強い。この作業を効率よく快適に行うための色付け器(特許出願の準備中)の試作を専門メーカーに委託し、実用化を図る。</p> <p><b>2 主な事業内容</b> (1) 色付け器の実用器試作 当所と産業技術センターとで共同研究してきたアイデアを基に、実用タイプの試作を県内メーカーに委託する。 (2) 実証農家でのモニタリング 試作器をスイカ生産者に実際に使用してもらい、実用性の評価や改善事項の明確化を行う。</p> <p><b>3 これまでの取組状況、改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スイカ農家から色付け作業の改善に対する要望があったため、平成20年度に色付け作業についての実態調査を実施した。</li> <li>・その結果、調査農家のうち78.5%が現状の方法について、「つけにくい、見にくい」などの不満を抱えていることがわかった。</li> <li>・これらの問題点を解消するため、鳥取県産業技術センターと新たな色付け器の開発に向けて共同研究を開始し、農家の意見を聞きながら改良を重ね、平成21年度に色付け器の原器を作製した。</li> </ul> <p><b>【参考:スイカの色付け作業とは・・・】</b></p> <p>スイカ栽培においては、交配した日から収穫日を算出し、出荷予測、適期収穫に役立てており、農家は、交配日を識別するため、異なる色のクレヨンで雌花の近くのつるに塗ってその目印としている。</p> <p>○ クレヨンによる色付け作業の問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ つるの上面だけに塗った場合は、生育とともに塗った箇所が見えなくなったり、見ようとしてつるを回すと折れてしまうことがある。</li> <li>・ つるの周囲全体に塗るのは手間がかかる。</li> <li>・ 天候などによりクレヨンの色が付きにくかったり、色あせする場合がある。</li> </ul>								